

令和3年度 第32回九州障がい者水泳選手権大会開催要項

主催	九州障がい者水泳連盟
共催	大分県障がい者スポーツ協会、(一社)大分県水泳連盟、大分県障がい者水泳連盟
後援	大分県、大分市、(一社)日本身体障がい者水泳連盟、(一社)日本知的障害者水泳連盟 九州水泳連盟、日本スイミングクラブ協会九州支部 (公財)大分県スポーツ協会、(社福)大分県社会福祉協議会、 (一社)大分県身体障害者福祉協会、大分県障がい児協会、(公社)大分県手をつなぐ育成会 大分県自閉症協会、大分県知的障害者施設協議会、(公社)大分県精神保健福祉会 (社福)太陽の家、大分県特別支援学校長会 大分合同新聞、NHK大分放送局、OBS大分放送、TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送
協力	大分県障害者スポーツ指導者協議会、大分県身体障害者福祉センター
特別協賛	株式会社G l o r y . 2 0 1 5
主管	第32回九州障がい者水泳選手権大会実行委員会
日時	令和3年6月5日(土) 大分県身体障害者福祉センター ・クラス分け判定 ・練習 14時～17時 令和3年6月6日(日) ・受付 8時30分～ ・公式練習 8時40分～9時40分 ・開始式 9時45分～ ・競技開始 10時00分～ (終了予定 15時30分)
会場	大分市営温水プール(25m×8レーン:当日は6レーンで使用予定) 〒870-0931 大分市西浜1番14号(TEL:097-558-1127)
競技種目	(1)別紙「九州障がい者水泳選手権大会競技種目一覧表」に掲げる競技種目 (2)シニア種目は、日本パラ水泳選手権大会1日目(11/20)現在で満50歳以上になる者。
競技規則	「(公財)日本水泳連盟競技規則」・「(一社)日本身体障がい者水泳連盟競技規則(WPS規則を含む)」及び本大会申し合わせ事項による。
競技方法	(1)競技は男女別に行い、すべてタイムレースとする。 (2)今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため無観客大会とする。 介助者が必要な選手は、必要最小限の介助者を同行できる。 (3)日本障がい者スポーツ協会のスポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン(「以下「感染拡大予防ガイドライン」という」 https://www.jsad.or.jp/coronavirus/pdf/guideline.pdf)ならびに別紙「第32回九州障がい者水泳選手権大会における新型コロナウイルス感染防止策」に沿って行う。
参加資格	「九州障がい者水泳連盟」(以下、「KSFD」という)令和3年度登録者とし、以下の区分別に各団体への登録も必須とする。なお未登録者については、今大会申し込みと同時に登録を受け付ける。 ①身体障がいの方は(一社)日本身体障がい者水泳連盟(以下「JPSF」という)への選手登録新規登録の方は、クラス分けを実施。詳細については、後日クラス分け地域リーダーより対象者に連絡します。 ただし、新型コロナウイルス感染対策と感染状況を踏まえ、クラス分けの実施については調整中です ②知的障がいの方は、(一社)日本知的障害者水泳連盟「以下「JSFP」という」への選手登録選手登録用紙(団体・個人)と登録料を提出すること。(知的障がい者の皆様へ参照)

記録について

参加資格記載の項目により、以下の通り公認・認定記録となります。

- 1) ①の登録者は、JPSF の公認記録となります。
- 2) ②の登録者は、JSFP の公認記録となります。

留意事項

- ① 400m自由形 女子：11分00秒 男子：9分25秒を参加制限タイムとする。
- ② 競技の進行に支障がある場合や危険な場合など審判長の判断で競技を中止する事がある。
- ③ 大会プログラムなどへの、個人名、クラス、所属などの掲載を拒否する選手は、大会運営に支障をきたすため、参加は認めない。テレビ・新聞社・特別協賛等の取材で報道される場合があることを理解のうえ参加すること。
- ④ 全ての参加者は、自己記録を必ず記入すること。記入が無い場合は参加を認めない。
- ⑤ 水深1.2m、退水レーンの設置予定。
- ⑥ 参加選手及び、選手と一緒に施設内に同行する介助者・コーチ・すべての競技役員の健康状況については、大会参加2週間前から記入した「健康チェックシート」の提出が必要である。「健康チェックシート」は事前に配布するので、初日(練習日または大会日)に必ず持参すること。提出がない場合は会場に入場できない。また、健康状態によって入場をお断りすることがある。健康状態を確認し入場可能と判断され手続きを済ませた方にADカードを渡す。
- ⑦ 参加料納入後の不参加申し入れについては、参加料の返還はしない。ただし、コロナ感染症拡大によって大会を中止する場合がある。その場合は参加料を返金する。

参加制限 1人3種目以内とする。

参加料 個人種目 1種目 1,500円

表彰 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策で密を避けるため表彰式は行わない。メダル、記録証は後日郵送する。
個人種目の優勝者に優勝メダルを贈る。完泳した選手、所属チーム(失格者除く)に記録証を発行する。

申込方法 所定の参加申込書に必要事項を記入し、下記の申込先に郵送すること。
参加費の納入は決定通知と共に、振込先を連絡する。5月頃を予定しているので、申込時には入金しないこと。

申込締切 令和3年4月15日(木) 必着

申込み先 九州障がい者水泳連盟事務局(担当:福田)
問合せ先 〒815-0031 福岡市南区清水1-17-15
福岡市立障がい者スポーツセンター気付
電話080-3223-3177(問合せは火~金13:00~18:00にお願いします)
FAX092-303-8727

その他 (1) 本大会は、無観客で実施するが以下のような介助者等は事前申し込みの上、入館が認められる。なお、以下基準の人数より多く介助者が必要な場合などは、参加申し込み締め切り前に事務局へ相談し、実行委員会で審議します。また、感染防止対策の観点から、観覧目的の申込は控えること。
・参加資格①の選手でCoEにY,A,Tが付与されている選手は、介助内容により2名まで
・参加資格②の選手が1名まで
・未成年(18歳未満・高校3年生含)の選手ならびに参加資格①のクラス15(聴覚障がい)の選手は、保護者等による同行者1名まで
(2) タッパーならびに入退水介助者は参加者で準備すること。あわせて、タッパーや入退水介助者は参加申し込み時に申し込んでおくこと。
(3) 監督会議は行わないので、ホームページに掲載される注意事項を良く読んでおくこと。
また、当日必要な連絡事項は、場内放送とともに会場内の速報掲示板に掲示する。

- (4) 参加者の健康管理は、各自で十分注意すること。障がい以外に高血圧症、心臓病等の持病がある場合は主治医に競技参加の許可を得て出場すること。健康状態において、競技続行中止の命令が出た場合は速やかに競技を中止すること。
- (5) 会場における事故等については、応急処置のみとし、その他の責任は負わない。
- (6) 申込書に記載された個人情報については厳重な管理のもと、大会プログラムの作成・報告書の作成・各報道機関への結果報告のみ使用する。
- (7) クラス抗議・再クラス分けについては、競技運営指針(J-FCS クラス分けマニュアル 1.5 及び 1.6) に則って行う。
- (8) 水着については、原則としてFINA及びWPSの規則に従う。
- (9) テーピング・サポーターは原則禁止されている。絆創膏などもテーピングとみなされるため、申請書を提出し審判長の指定した役員の許可を得なければならない。
- (10) 「ロゴマーク等の使用基準」については、FINA (GR6) 及びWPSの規則に従う。
- (11) 車椅子の貸し出しは行わないので必要な方は各自用意すること。
- (12) 大会当日の選手控室は、徒歩5分の距離にある「大分県身体障害者福祉センター」です。
- (13) クラス分けおよび前日・当日の練習会場は、大分県身体障害者福祉センターで行います。プールの長さは15mです。特に視覚障がいの方は注意してください。
- (14) アップで利用できる道具は、ビート版、プルブイのみとし、フィンやパドルなどの利用はできません。

新型コロナウイルス感染拡大予防に関する注意事項

- (1) 会場内に入場する選手、介助者、競技役員等は2週間前の健康チェックシートを提出し入場が可能と判断された者のみ入場できる。入場可能な者にはADカードを渡すので、会場内では首からさげること。
- (2) 入場時及び必要に応じて非接触型温度計にて検温を行う。
- (3) 会場内ではマスクを着用し、3密(密集、密接、密閉)を回避すること。こまめな手洗い、咳エチケットを心がけること。また、大声での会話や声援は慎むこと。
- (4) 感染症拡大防止のため、時間帯で区切るなど練習時の人数や会場の入場人数を制限することがある。
- (5) その他、詳細は別紙「第32回九州障がい者水泳選手権大会における新型コロナウイルス感染防止策」を確認すること。

《 競 技 順 序 》

- | | |
|---------------|------------------------|
| 1. 400m自由形 | 11. 50m自由形(シニア競技を含む) |
| 2. 25m自由形 | 12. 200m自由形 |
| 3. 25m背泳ぎ | 13. 200m個人メドレー |
| 4. 25mバタフライ | 14. 150m個人メドレー |
| 5. 25m平泳ぎ | 15. 50m背泳ぎ(シニア競技を含む) |
| 6. 75m個人メドレー | 16. 50mバタフライ(シニア競技を含む) |
| 7. 100m個人メドレー | 17. 50m平泳ぎ(シニア競技を含む) |
| 8. 100m背泳ぎ | 18. 100m自由形 |
| 9. 100mバタフライ | |
| 10. 100m平泳ぎ | |

※申し込み状況により競技順序が変更になる場合があります。